

寺報 佛心

第59号

日輪山 長久寺

【発行所】

岩田市美和町生見八七
電話 〇八二七（九六）〇九八二
FAX 〇八二七（九六）〇九八二
発行人 三上宗順

ご案内 春季大法要

三月二十三日（日曜日）

午後二時から

各家先祖塔婆供養

説教

巡教教師 東京都八王子市

興慶寺（南禅寺派）

住職 蓮沼直亮師

春彼岸。家族みんなでご先祖のご供養を致しましょう。

今年の日曜日です。お子さん達もお誘いしてお参り下さい。

法要終了後、お参りの方に

お弁当を差し上げます。トン

汁も用意しますので、皆さん

一緒にお召し上がり下さい。

塔婆供養の申込について

塔婆供養の申し込みは三月

十六日午前 国木原二班

十五日午前 国木原一班

二十三日の当日までに、各班の役員世話人さんまたは長久寺までお申し出ください。

お彼岸のお勤めについて

左記の日程で檀徒各家にお彼岸の供養にお参りします。

戸が開けばお留守でもお勤めをさせて頂きます。ご都合の悪い方はご連絡ください。

八日 地区外

九日 地区外

十日午前 友重・平原

十一日午前 野登路一班

十二日午前 野登路二班

十三日午前 市原一班

十四日午前 市原二班

十五日午前 国木原一班

十六日午前 国木原二班

幸せになる方法 その⑬

私たちが幸せと感じるのは、

心身の健康・家族・生きがいなどですが、これらは他との比較から生じる相対的な幸せ感であり、絶対的な永遠の幸せではないと、仏教はいうのです。

この仏教が日本に伝えられ、古代からの日本神道と融合し、現在まで正月・お彼岸・お盆として仏壇・位牌・お墓などご先祖と密着した行事が私たちの日常に溶け込んでいます。祖霊信仰というご先祖への畏敬の念が根底にあります。

私たちは誰かの命のおかげで生きています。

誰もが望みも願ひもしないのに、こうして父母から生まれ、

命を頂いたわけです。

この命を生み育てるのは、森羅万象、自然の力に外なりません。私たちが口にするもので

水・空気以外は、動植物の命を頂きながら今を生きています。

ですからこの私をどこからどう見ても、「私」という存在は、私だけではありません。生物です。私を

ね。そうでありながら、私は私を中心と考えて、他の命の犠牲の上に今の私があるという思いには至らない。つまり他者への感謝どころか他者をないがしろにし、他者を排除すらしている。地球上のあふれた命を認め

てこそ、私の命がある訳ですね。

だとしたら、幸せとは、命あるすべての生物に平等に与えられたものということでしょうか。

今日彼岸 菩提の種を

撒く日かな(芭蕉)

墓参の合掌の姿が浮かびます。菩提とは幸せ感の事ですね。

「捨ててサトル」の話

「こん中にイルモナ(必要な物)一つもなかるう」と、数年前にある方から言われた倉庫を、この冬片付けることにしました。

牛を飼って農業をしていた先住の宗映和尚の時の「長屋」を取り壊して30年前、栗山の隅に農業用倉庫として建てたもので、以来本格的に片付けをしたことがなかったのです。

子供の頃からの貧乏性が祟ってか未だに物を捨てるのができない。というか要不要の判断、整理整頓ができません。一言で言えば愚図なのです。

ところで「捨う」話ですが、ドジャースの大谷翔平選手の「ゴミ拾いは他人の捨てた運を捨う」という話は有名ですね。

超一流のアスリートは心身のコントロールが上手だそうです。年間700以上の全ての打席に、心技体の100%を注ぐ。しか

もこの一球に、一点の迷いも起らない集中力を発揮する。これはほかでもない日常の心の平穩から作られるものらしいです。

決して大谷選手は、人に良く見られたいとか、落とした人を責めたり叱ったりするのではなく、ただゴミを捨てただけ。陰徳ですね。人知れず静かな善行が、大谷選手の心を安定させているのです。

部屋の片付けができない人は、心も乱れがちと言われていますね。ブームになった断捨離とか終活は、すっきりさせる身辺整理なので、心の安定につながるのでしょうか。

そうそうすっきりしない倉庫の話ですが、乱雑に積まれた桶・釜から刃のこぼれた鎌・柄のない鋏、そして育苗箱、育苗機・田植機など…の必要ない物から、そして20年前の私の晋山式、10年前の息子の

結婚式など大きな行事の時には倉庫が物置になり、そのまま放置された箱の山また山。

「ごちゃごちゃの段ボール箱を整理していると、高校の入学時に買ってもらった腕時計が出てきました。15歳ですから、57年前のもので、恐らく就職して使わなくなり、50年くらい放置していたと思います。自動巻きなので振ると、ナント動く。時刻と曜日日付を合わせて、左腕に付け再び使い始めました。アナログの強靱さを思い知りましたね。それと義父の使っていた眼鏡も出て来て、これもレンズを入れ替えフレームは使おうと思っています。やっぱりね、ゴミを捨うどころか自分のゴミも捨てられない…だから片付かない、だから私の心は常にフワフワの不安定。運もつかない。

仏教は「捨てる」こと。お釈迦様は、王子の地位や財、妻子、

親、部下・知人を捨て、俗生活を捨てて、お悟りの為に厳しい修行の山に入られた。全てを捨てて家を出る、出家ですね。

平安時代の踊念仏で有名な時宗の開祖一遍上人は「捨ててこそ」と言われました。地位・お金、知識分別・自負心、そして恐れる心も幸せを願う心も一切を捨て念仏に生きた人です。

禅の言葉に「放下著(ホウゲジャク)すべてを投げ捨ててしまえ」というのがあります。弟子が「すべての物を捨てて何一つ持っておりませんが、そんな時どうしたらいいのですか」と聞いた時の師匠の言葉です。捨てるものはないという自負が残っているではないか、「そんなもの捨ててしまえ！」というのです。捨ててこそ浮かぶ瀬もあれ。おっ腕の時計が重い沈みそうー。捨てなさい！早く…アー沈んじゃったよー地獄(欲)の淵に…。